

令和7年9月26日

令和7年第3回神奈川県議会定例会

建設・企業常任委員会報告資料

(その2)

県土整備局

株式会社湘南なぎさパーク

令和7年度事業概要報告書

1 設立及びその目的

- (1) 設立年月日 平成2年4月17日
- (2) 設立の目的 県立湘南海岸公園内に分散している駐車場を立体駐車場に集約、整備し、その管理・運営を行うことを目的として設立

2 所在地

藤沢市鵜沼橋1丁目2番7号

3 資本金

- (1) 設立当時 7億3,000万円
- | | | |
|-----|------|-----------|
| 出資者 | 神奈川県 | 3億1,000万円 |
| | 藤沢市 | 1億5,000万円 |
| | 民間 | 2億7,000万円 |
- (2) 令和7年3月末日現在 7億3,000万円
- | | | |
|-----|------|-----------|
| 出資者 | 神奈川県 | 3億1,000万円 |
| | 藤沢市 | 1億5,000万円 |
| | 民間 | 2億7,000万円 |

4 令和7年度事業計画及び予算等に関する書類

別添資料のとおり

5 令和6年度事業報告及び財務諸表

別添資料のとおり

6 役員 (令和7年9月1日現在)

代表取締役社長	田代文彦		
取締役	川崎隆之	沓澤孝一	露木健勝
	堀一久	甘糟静子	高木英典
監査役	井村浩章	門脇努	横山佳右

第 36 期（令和 7 年度）事業計画に関する件

第 36 期（令和 7 年度）事業計画を次のとおり定める。

1 駐車場経営事業

県立湘南海岸公園内等の駐車場及びテニスコートに関し、次のとおりの事業を行う。

(1) 駐車場等経営事業

ア 西部駐車場

(ア) 収容台数（普通車のみ） 4 月下旬～10 月 380～435 台

上記以外の期間 325 台

(イ) 利用見込台数 121,000 台

(ウ) 営業期間 4 月 1 日～3 月 31 日

イ 中部（バス）駐車場

(ア) 収容台数 普通車換算 490 台

（バス等最大 36 台まで可）

(イ) 利用見込台数 普通車 118,000 台

バス等 2,300 台

(ウ) 営業期間 4 月 1 日～3 月 31 日

ウ 江の島なぎさ駐車場

(ア) 収容台数（普通車のみ） 327 台

(イ) 利用見込台数 283,000 台

(ウ) 営業期間 4 月 1 日～3 月 31 日

(2) テニスコート営業事業

西部駐車場において、テニスコート及びテニススクールを営業する。

ア コート営業可能日 通年 4 月下旬から 10 月 コート 4～6 面

上記以外の期間 コート 8 面

イ コート使用見込件数 2,200 件

ウ スクール受講見込者数 700 人

(3) その他利用者サービス事業

パーク＆フリーサイクル事業

駐車場の利用時間増による収入の拡大と利用者サービスの提供のため、レンタサイクルを実施する。

2 鵠沼海浜公園事業（スケートパーク）

(1) 事業概要

藤沢市鵠沼海浜公園 Park - PFI 事業における特定公園施設スケートパークの統括責任者として、整備・管理運営業務を行う。

(2) 営業概要

ア 休園日

(イ) 定期休園日：毎月第一、第三月曜日、12月31日～1月1日

※ 第一、第三月曜日が祝日だった場合、翌日を休園日とする。

(ロ) 臨時休園日：施設点検等施設管理のために休園することが必要な日

イ 開園時間

	平 日	土・日・祝祭日及び市立小中学校の長期休み期間は入替制による2部営業
4月・9月	10:00～18:00	① 10:00～13:30 / ② 14:30～18:00
5月～8月	10:00～18:30	① 10:00～13:45 / ② 14:45～18:30
10月・3月	10:00～17:30	① 10:00～13:15 / ② 14:15～17:30
11月～2月	10:00～17:00	① 10:00～13:00 / ② 14:00～17:00

※ 入場者が概ね200名を超えた時点で入場規制を行う場合がある。

ウ 入場料（税込み）

	一般（高校生以上）	小・中学生	未就学児
1回券	400円	100円	無 料
回数券（6回分）	2,000円	500円	

※ 未就学児のみでの入場不可、保護者など同伴者の付き添い必須（要入場料）

エ 対象種目 スケートボード、BMX、インラインスケート

オ 施設の貸切り利用

スケートボードやBMXなどの競技会やスケートパークの趣旨に沿ったイベント等の開催のため、スケートパーク内の一部施設又は施設全体の貸切りを可能とする。

・貸切り利用料（１時間当たり / 税抜き）

施設（エリア・セクション）	非営利目的利用料金
ランプ（１台当たり）	3,000 円
ビギナーエリア（一部使用）	3,000 円
ミニボウル	5,000 円
スネークゾーン	5,000 円
サーフスケートゾーン	5,000 円
ストリートエリア	10,000 円
BMX エリア	10,000 円
コンビプール	10,000 円
スケートパークエリア全体	50,000 円

※１ 営利（商業）目的の場合は、上記の倍額

※２ 中学生以下の競技会で地元団体、公共団体が主催する場合は、上記の半額

※３ 非営利目的の利用において、神奈川県及び藤沢市並びに公益法人等で特定公園施設（スケートパーク）統括・管理運営統括を行う者が特に認めた団体が主催又は共催するもののうち、専らスケートパーク施設の広報及び競技の普及啓発に資する催し又は活動と認められる場合は、占用利用料並びに撮影料を免除する。

カ 撮影

施設を利用した撮影（競技会等の記録・配信、広告宣伝、作品制作など）については、スポーツ振興やスケートパークの PR、シティプロモーションにもつながることから可能とする。（家族や友人同士など個人利用を目的としたスマートフォン・携帯電話での撮影については、無料）

・撮影料（半日 / 税抜き）

静止画	10,000 円
動画	20,000 円

(3) 令和 7 年度 大会・イベントスケジュール（３月 28 日現在）

月日	大会・イベント名（主催）	主な内容
4 月 3 日（木） ～ 6 日（日）	スケートボード日本 OPEN パーク （WORLD SKATE JYAPAN）	WSJ ランキングポイント・国際大会派遣選手を選抜するパーク男女の大会
4 月 6 日（日）	春の親子体験イベント （小田急電鉄(株)広報部）	スケートボードの初心者親子体験会
7 月 20 日（日） ・ 21 日（月）	2025 MURASAKI SHONAN OPEN （湘南オープン実行委員会）	スケートボード・BMX・サーフィンを軸に飲食やライブなども展開する総合イベント
10 月 18 日（土）	SHONAN URBAN SPORTS FESTIVAL （２市１町）	スケートボード・BMX の地元選手による交流会 デモ走行、トークセッション他

12 月未定	アーバンスポーツ普及促進(仮) (神奈川県)	親子参加型のスケートボード体験会、デモ走行、ルールマナーの普及啓発他
--------	---------------------------	------------------------------------

(4) 新規事業

日よけ・雨除け用庇の新設について

スケートパーク利用者の快適性向上のため、日よけ・雨除け用の庇を設置する。

- ・ 設置場所 B 棟（商業棟）ムラサキパーク鵠沼海岸公園店 南側壁面
- ・ 規 模 約 W17200 × D1700
- ・ 仕 様 ロールオーニングタイプ（手動式）
- ・ 概算費用 3,000 千円（当社資産計上）

※設置場所・規模・仕様については、現時点の案

3 片瀬海岸地下駐車場管理・営業事業

指定管理者として、駐車場の一般管理に関する業務、利用状況調査、利用促進等に関する事務、料金徴収に関する業務並びに施設の保全、維持修繕及び清掃業務等を行う。

- (1) 構造 鉄筋コンクリート造 地上 1 階 地下 2 階
- (2) 収容台数（普通車のみ） 200 台
- (3) 利用見込台数 121,000 台
- (4) 休場日 原則なし。ただし、館内総点検日を除く。
- (5) 指定の期間 令和 6 年 4 月 1 日から令和 11 年 3 月 31 日まで

4 湘南海岸公園管理・営業事業

指定管理者として、公園及び管理施設の維持管理業務並びに公園内管理許可施設である駐車場に係る事業を行う。

- (1) 維持管理面積 13.3 ha

(2) 管理施設

ア サーフビレッジ 鉄筋コンクリート造 2 階建 1,320 m²

(ア) 多目的ホール (136 m²)

(イ) 展示ホール (69.58 m²)

(ウ) 閉館日 第 1 及び第 3 月曜日（ただし、この日が国民の祝日に関する法律に規定する休日にあたる場合は直後の平日）並びに 12 月 29 日から 1 月 3 日まで

イ ログハウス（業務員詰所） 木造平屋造 59.6 m²

(3) 管理許可施設

ア 緑陰広場駐車場

イ 収容台数（普通車のみ） 58 台

リ 利用見込台数 20,700 台

エ 営業期間 4月1日～3月31日(12月29日から1月3日を除く)

オ 営業時間

営業期間	営業時間
7月から8月までの全日	6時から18時30分まで
上記以外の全日	6時から17時30分まで

(4) イベントの実施

従前からの「鵠沼ハワイアンフェスティバル」や「湘南海岸公園まつり」に加え、地域の国際環境NGOや企業と共催で「カーニバル湘南」や「ビーチニック」等の大型イベントを実施し、公園の賑わいづくりや利用者増を図る。

(5) サービスの向上

広くきれいな芝生広場の整備や眺望の良い場所へのベンチ設置など、湘南の海や富士山などの眺望を楽しめるよう公園の魅力化を図る。

(6) 指定の期間 令和4年4月1日から令和9年3月31日まで

第36期(令和7年度)予算に関する件

第36期(令和7年度)損益予算を次のとおり定める。

損益予算書

(単位:千円)

区 分	第36期 (令和7年度) A	第35期 (令和6年度) B	増 減 C	
			金 額 (A - B)	率 (%) (A / B)
営 業 収 益				
駐 車 場 収 入	634,051	691,310	▲ 57,259	92
指 定 管 理 料	62,777	62,777	0	100
施 設 利 用 料 収 入	12,118	11,475	643	106
自 販 機 手 数 料	13,659	13,812	▲ 153	99
テ ニ ス 収 入	7,181	7,404	▲ 223	97
委 託 料 収 入	17,000	14,166	2,834	120
入 場 料 収 入	7,235	6,028	1,207	120
販 売 手 数 料 収 入	750	800	▲ 50	94
賃 貸 収 入	9	13	▲ 4	69
そ の 他 収 入	1,424	835	589	171
計	756,204	808,620	▲ 52,416	94
営 業 費 用				
仕 入 費	147	140	7	105
人 件 費	203,601	189,400	14,201	108
事業費(専用権償却)	38,130	35,474	2,656	108
そ の 他 費 用	420,333	445,574	▲ 25,241	94
(賃 借 料)	(88,848)	(98,920)	(▲ 10,072)	(90)
(修 繕 費)	(14,275)	(12,902)	(1,373)	(111)
(減 価 償 却 費)	(32,010)	(34,217)	(▲ 2,207)	(94)
(業 務 委 託 料)	(111,333)	(122,846)	(▲ 11,513)	(91)
(納 付 金)	(72,723)	(72,163)	(560)	(101)
(そ の 他)	(101,144)	(104,526)	(▲ 3,382)	(97)
計	662,211	670,588	▲ 8,377	99
営 業 損 益	93,993	138,032	▲ 44,039	68
営 業 外 収 益	1,530	813	717	188
営 業 外 費 用	6,435	7,374	▲ 939	87
経 常 損 益	89,088	131,471	▲ 42,383	68
特 別 利 益	-	-	-	-
特 別 損 失	-	-	-	-
当 期 税 引 前 損 益	89,088	131,471	▲ 42,383	68

第36期（令和7年度）資金予算書

（単位：千円）

区 分			第36期 (令和7年度) A	第35期 (令和6年度) B	増 減 C	
					金 額 (A - B)	率(%) (A / B)
営業収支	収入	駐 車 場 収 入	634,051	691,310	▲ 57,259	92
		指 定 管 理 料	62,777	62,777	0	100
		施 設 利 用 料 収 入	12,118	11,475	643	106
		自 販 機 手 数 料	13,659	13,812	▲ 153	99
		テ ニ ス 収 入	7,181	7,404	▲ 223	97
		委 託 料 収 入	17,000	14,166	2,834	120
		入 場 料 収 入	7,235	6,028	1,207	120
		販 売 手 数 料 収 入	750	800	▲ 50	94
		賃 貸 収 入	9	13	▲ 4	69
		そ の 他 収 入	1,424	835	589	171
		計	756,204	808,620	▲ 52,416	94
	支出	仕 入 費	147	140	7	105
		人 件 費	199,167	186,905	12,262	107
		そ の 他 費 用	411,190	445,574	▲ 34,385	92
		賃 借 料	88,848	98,920	▲ 10,072	90
		修 繕 費	14,275	12,902	1,373	111
		設 備 投 資 費	22,867	41,530	▲ 18,664	55
		業 務 委 託 料	111,333	122,846	▲ 11,513	91
		水 道 光 熱 費	30,840	35,525	▲ 4,685	87
		納 付 金	72,723	72,163	560	101
		そ の 他	70,304	61,688	8,616	114
		計	610,504	632,619	▲ 22,116	97
	過 不 足 額		145,701	176,001	▲ 30,301	83
その他の収支	収入	受 取 利 息	730	13	717	5615
		有 価 証 券 利 息	0	0	0	-
		雑 収 入	800	800	0	100
		計	1,530	813	717	188
	支出	借 入 金 返 済	50,000	60,000	▲ 10,000	83
		税 金	63,845	59,982	3,863	106
		支 払 利 息	6,435	7,374	▲ 939	87
		計	120,280	127,356	▲ 7,076	94
	過 不 足 額		▲ 118,750	▲ 126,543	7,793	94
	当 期 過 不 足 額		26,951	49,458	▲ 22,508	55

報告事項

第 35 期（令和 6 年度）事業報告、計算書類

事業報告

〔 令和6年4月1日から
令和7年3月31日まで 〕

1 株式会社の現況に関する事項

(1) 事業の経過及びその成果

当期は、夏の猛暑や記録的な大雨・長雨をもたらした台風10号等があったものの、年間を通してみれば概ね安定した天候で、業績も堅調に推移した年となりました。

また、4月から片瀬海岸地下駐車場の新しい指定管理第5期がスタートし、6月には鵜沼海浜公園のスケートパークがリニューアルオープンした一方で、暫定的に運営してきた「江の島かもめ駐車場」が、県との契約期間の満了に伴い令和7年3月をもって営業終了となるなど、事業の節目の年となりました。

以下、各事業ごとに説明いたします。

まず、当社の主要事業である駐車場経営事業については、江の島島内の普通車は前期実績を維持し、大型バスについては収容台数を増やしたこともあり、大幅な増加となりました。また、片瀬・鵜沼海岸地区の普通車はやや減収となった一方で、大型バスはやや増収となりました。その結果、収入全体は前期とほぼ同水準となりました。

次に、鵜沼海浜公園（スケートパーク）についてです。

リニューアルへの期待と関心の高さを反映し、6月から8月にかけての入場者数は好調に推移しましたが、猛暑と週末に悪天候が続いた9月と10月はやや伸びを欠きました。しかし、11月以降は気候が安定し、また利用者ニーズへの取組が功を奏し、上昇に転じました。その結果、リニューアル前の最多入場者数を記録した令和3年度実績を上回り、順調なスタートとなりました。

次に、片瀬海岸地下駐車場、湘南海岸公園の指定管理事業及び指定管理施設附帯・自主営業事業についてです。

片瀬海岸地下駐車場については、第5期指定管理の1年目となりましたが、収入全体は、前期と比べ金額で599千円の減となりました。

湘南海岸公園については、第4期指定管理の3年目を迎え、収入全体は、前期と比べ金額で2,052千円の減、率にして2%の減となりました。

これら事業の当期の売上高は、駐車場経営事業収入が593,023千円、鵜沼海浜公園事業収入が23,231千円、片瀬海岸地下駐車場等2施設の指定管理事業収入の合計が200,547千円、指定管理施設における附帯・自主営業事業収入が36,904千円となりました。事業収入の合計は853,707千円で、鵜沼海浜公園事業の再開に伴い、前期と比べ金額で22,962千円の増、率にして3%増となりました。

一方、営業費用については、前期に比べ、修繕費が7,471千円(72%)の増、水道光熱費が2,031千円(8%)の増などがありましたが、効果的・効率的な事業の執行に努め、合計では昨年と同水準となりました。

以上の結果、営業利益は199,658千円、経常利益は196,102千円、税引前当期純利

益は196,021千円、法人税等を控除した当期純利益は136,345千円となりました。

今後とも社会情勢を注視し、引き続きお客様への一層のサービス向上や営業収益力の強化などに努め、会社の安定経営と地域振興への貢献に取り組んでまいり所存でございます。

(単位：千円)

事業区分		売上高
駐車場経営事業		593,023
鵜沼海浜公園事業		23,231
指定管理事業	片瀬海岸地下駐車場	137,770
	湘南海岸公園(指定管理料)	62,777
	計	200,547
指定管理施設附帯・自主営業事業		36,904
合 計		853,707

(注) 千円未満の端数を切り捨て処理にしているため、合計値とは符合しません。以下各表とも同様です。

(2) 設備投資等の状況

実施計画に基づき、西部駐車場及び中部駐車場の大規模修繕工事を実施しました。(当期実施総額 42,569 千円)

スケートパークの整備を実施しました。(当期実施総額 72,380 千円)

(3) 資金調達の状況

当期において、資金調達は実施しておりません。

(4) 対処すべき課題

鵜沼海浜公園については、国内屈指のロケーションを活かし、利用者や地域の方々の期待に応える管理運営に努めてまいります。

湘南海岸公園については、だれもが快適で安全・安心に利用できる公園管理に取り組むとともに、「湘南海岸公園まつり」や「カーニバル湘南」等の大型イベントを開催し、公園のにぎわいや地域の活性化に努めてまいります。

今後も安定した会社運営を確保していくため、社是であります「親切」「安全」「清潔」の理念のもと、駐車場等の経営並びに都市公園の管理・運営に精励し、経営基盤をより一層強化させることにより、株主に対し安定的な利益配分ができるよう万全を尽くしてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援ご鞭撻を賜りますようお願いいたします。

(5) 財産及び損益の状況の推移

(単位：千円)

区 分	令和3年度 第32期	令和4年度 第33期	令和5年度 第34期	令和6年度 第35期
売 上 高	910,118	1,040,728	830,745	853,707
当期純損益	127,503	149,502	125,048	136,345
1株あたり 当期純利益 (単位:円)	8,733.14	10,239.92	8,564.98	9,338.72
総 資 産	3,751,070	3,762,855	3,759,338	3,594,619
純 資 産	2,329,746	2,471,949	2,589,698	2,718,706

(6) 主要な事業内容

事 業 区 分		内 容
駐車場経営事業		西部、中部、中部バス、江の島なぎさ、江の島かもめ駐車場の営業
鵠沼海浜公園事業		スケートパークの整備、運営の統括
指定管理事業	片瀬海岸地下駐車場	駐車場の管理運営
	湘南海岸公園	公園の管理運営
指定管理施設附帯・自主営業事業		緑陰広場駐車場の営業、シャワー、ロッカー、カフェ等の有料施設の営業、自動販売機による飲料・食品の販売など

(7) 主要な事業所

名 称	所 在 地
湘南海岸公園西部駐車場	神奈川県藤沢市鵠沼海岸1丁目17番24号
湘南海岸公園中部駐車場	神奈川県藤沢市片瀬海岸3丁目25番26号
湘南海岸公園中部バス駐車場	神奈川県藤沢市片瀬海岸3丁目25番26号
江の島なぎさ駐車場	神奈川県藤沢市江の島1丁目2番1号
江の島かもめ駐車場	神奈川県藤沢市江の島1丁目11番1号
鵠沼海浜公園スケートパーク	神奈川県藤沢市鵠沼海岸4丁目4番1号
片瀬海岸地下駐車場	神奈川県藤沢市片瀬海岸2丁目19番
湘南海岸公園サーブビレッジ	神奈川県藤沢市鵠沼海岸1丁目17番3号

(8) 従業員の状況

従業員数	前期末比増減数
24 名	—

(注) 従業員数のうち 16 名は、嘱託社員であります。

(9) 借入先の状況

(単位：千円)

借入先	借入目的	借入残額
横浜銀行	江の島なぎさ駐車場土地購入資金として	750,000

2 株式会社の株式に関する事項

- (1) 発行済株式の総数 14,600 株
- (2) 株主数 15
- (3) 大株主（発行済株式数の 10%以上の株式を有する大株主）

株主名	持株数
神奈川県	6,200 株
藤沢市	3,000 株
小田急電鉄株式会社	2,600 株

3 株式会社の会社役員に関する事項

- (1) 取締役及び監査役の氏名等 (令和 7 年 3 月 31 日現在)

氏名	地位及び担当	重要な兼職の状況
田代 文彦	代表取締役社長	
川崎 隆之	取締役	藤沢市 副市長
沓澤 孝一	取締役	小田急電鉄株式会社 取締役常務執行役員
露木 健勝	取締役	江ノ島電鉄株式会社 常務取締役
堀 一久	取締役	株式会社江ノ島マリンコーポレーション 代表取締役社長
甘糟 静子	取締役	大安興業株式会社 専務取締役
剣持 栄	取締役	当社 総務部長
鈴木 信之	常勤監査役	
横山 佳右	監査役	株式会社横浜銀行 藤沢中央支店 支店長
門脇 努	監査役	公益財団法人かながわ海岸美化財団 代表理事

(注) 1 取締役 川崎 隆之氏、沓澤 孝一氏、露木 健勝氏、堀 一久氏及び甘糟 静子氏は、社外取締役であります。

2 監査役 横山 佳右氏及び門脇 努氏は、社外監査役であります。

(2) 取締役及び監査役の報酬等の額

取締役（社内） 2名 8, 5 8 8 千円

監査役（社内） 1名 1, 6 9 2 千円

4 株式会社の会計監査人の状況

会計監査人の名称 普賢監査法人

5 株式会社の執行体制及び方針

(1) 取締役・使用人の職務執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制

ア コンプライアンス体制確立のため、社長が中心となり、取締役・使用人に指導研修を行う他、部を所管する部長をコンプライアンス推進担当者に指名し、事業の適正な執行を確保する。

イ 職務権限規程、組織、職務分掌規程及び接客マニュアル等を整備し、研修等を通じその遵守について指導する。

(2) 損失の危険の管理に関する規定その他の体制

すでに「災害時対策要綱（内規）」を策定しているが、県及び市が提示する災害行動指針を注視し、必要に応じて同要綱の見直しに取り組み、災害時における施設利用者の安全確保と適切な施設管理を図る。また、各事業施設別に作成した有事における行動マニュアルも同様に見直すこととし、会社全体で危機管理に当たる。

更に、金融情勢等についても迅速かつ適確に把握し、リスク軽減に努める。

(3) 取締役の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制

全取締役が出席する取締役会を必要の都度随時開催し、重要事項に関する意思決定を機動的に行う。その際、必要に応じ監督官庁の出席も仰ぎ、意見を拝聴する。

(4) 取締役の職務執行に係る情報の保存及び管理に関する体制

取締役の職務執行に係る情報は、規則に則り作成し、文書取扱主任者を指名し、十分な注意をもって保存・管理に務める。

(5) 監査役の職務を補助すべき使用人

必要に応じて、監査役の業務補助のため、監査役スタッフを総務課に置くこととする。

(6) 監査役への報告体制及びその他監査役の監査が実効的に行われることを確保するための体制

ア 常勤監査役は、取締役会のほか、重要な意思決定会議に出席し、必要に応じて意見を述べる。

また、神奈川県監査委員監査にも立ち会う。

なお、当社の会計監査人である普賢監査法人から会計監査内容について説明を受け、

必要に応じて経営者に意見を述べる。

イ 全ての取締役・使用人は、会社に著しい損害を及ぼす恐れのある事項を発見したときは、直ちに監査役に報告する。

ウ 内部通報制度及びハラスメント防止についての要綱を整備し、その窓口を常勤監査役としている。

エ 社内監査制度の要綱に基づき、定期的に社内の監査を実施し、その結果を社長、常勤監査役及び幹部社員に報告する。

貸 借 対 照 表

(令和7年3月31日現在)

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流 動 資 産	991,680	流 動 負 債	138,633
現 金 及 び 預 金	874,603	1 年 以 内 返 済 予 定 長 期 借 入 金	50,000
売 掛 金	14,768	未 払 金	32,223
有 価 証 券	99,540	未 払 費 用	6,566
商 品	65	未 払 法 人 税 等	23,222
前 払 費 用	1,488	未 払 消 費 税	11,093
未 収 金	16	前 受 金	1,315
未 収 収 益	50	預 り 金	775
立 替 金	573	賞 与 引 当 金	8,703
預 け 金	876	資 産 除 去 債 務	4,734
貸 倒 引 当 金	▲ 301		
固 定 資 産	2,602,939	固 定 負 債	737,278
有形固定資産	2,154,491	長 期 借 入 金	700,000
建 物	163,929	退 職 給 付 引 当 金	30,394
構 築 物	24,253	長 期 資 産 除 去 債 務	6,884
機 械 装 置	2,741		
車 両 運 搬 具	2,831	負 債 合 計	875,912
器 具 備 品	15,747	純 資 産 の 部	
土 地	1,944,987	株 主 資 本	2,718,743
無形固定資産	397,993	資 本 金	730,000
施 設 専 用 利 用 権	395,395	利 益 剰 余 金	1,988,743
電 話 加 入 権	581	利 益 準 備 金	14,886
ソ フ ト ウ ェ ア	2,016	そ の 他 利 益 剰 余 金	1,973,857
投資その他の資産	50,454	大規模補修工事積立金	157,261
繰 延 税 金 資 産	19,577	繰越利益剰余金	1,816,595
保 証 金	2,877	評価・換算差額等	▲ 37
長 期 性 預 金	28,000	そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	▲ 37
資 産 合 計	3,594,619	純 資 産 合 計	2,718,706
		負債及び純資産合計	3,594,619

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

損 益 計 算 書

〔 令和6年4月 1日から
令和7年3月31日まで 〕

(単位：千円)

科 目	金 額	
売 上 高		853,707
売 上 原 価		570,377
売 上 総 利 益		283,330
販売費及び一般管理費		83,671
営 業 利 益		199,658
営 業 外 収 益		
受 取 利 息	488	
有 価 証 券 利 息	90	
受 取 負 担 金	1,713	
保 険 料 返 戻 金	766	
助 成 金 収 入	800	
そ の 他	214	4,074
営 業 外 費 用		
支 払 利 息	7,630	
そ の 他	0	7,630
経 常 利 益		196,102
特 別 損 失		
固 定 資 産 処 分 損	81	81
税 引 前 当 期 純 利 益		196,021
法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税		41,326
法 人 税 等 調 整 額		18,350
当 期 純 利 益		136,345

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

株主資本等変動計算書

〔 令和6年4月 1日から
令和7年3月31日まで 〕

(単位：千円)

	株 主 資 本						評価・ 換算 差額等	純資産合計
	資 本 金	利 益 剰 余 金				株主資本 合計	その他 有価証 券評価 差額金	
		利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金 合計			
			大規模補修 工事積立金	繰越利益 剰 余 金				
当 期 首 残 高	730,000	14,156	239,220	1,606,321	1,859,698	2,589,698	—	2,589,698
当 期 変 動 額								
剰 余 金 の 配 当				△ 7,300	△ 7,300	△ 7,300		△ 7,300
剰余金の配当に伴う 利益準備金の積立		730		△ 730	—	—		—
当 期 純 利 益				136,345	136,345	136,345		136,345
大規模補修工事 積立金の取崩			△ 81,958	81,958	—	—		—
株主資本以外の項目 の変動額（純額）					—	—	△ 37	△ 37
当 期 変 動 額 合 計	—	730	△ 81,958	210,273	129,045	129,045	△ 37	129,008
当 期 末 残 高	730,000	14,886	157,261	1,816,595	1,988,743	2,718,743	△ 37	2,718,706

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

個 別 注 記 表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1 資産の評価基準及び評価方法

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

 その他有価証券

 市場価格のない株式等以外のもの……決算日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却価格は総平均法により算定）

 市場価格のない株式等……総平均法に基づく原価法

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

 商品・貯蔵品……最終仕入原価法に基づく原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定）

2 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産……定率法

 （リース資産を除く） ただし、平成 10 年 4 月 1 日以降に取得した建物（建物附属設備を除く）、並びに平成 28 年 4 月 1 日以降に取得した建物附属設備及び構築物については定額法によっております。
 なお、主な耐用年数は以下のとおりです。

建物	2～38 年
構築物	3～20 年
機械装置	8～10 年
車両運搬具	4 年
器具備品	2～20 年

(2) 無形固定資産……定額法

 （リース資産を除く） なお、ソフトウェア（自社利用分）については、社内における利用可能期間（5 年）に基づく定額法によっております。

(3) リース資産……所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産 リース期間を耐用年数とし、残存価額をゼロとする定額法を採用しております。

3 引当金の計上基準

 賞与引当金……従業員に対して支給する賞与の支出に充てるため、将来の支給見込額のうち当期の負担額を計上しております。

 退職給付引当金……従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付の要支給額を計上しております。

4 重要な収益及び費用の計上基準

 「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第 29 号 2020 年 3 月 31 日）及び「収益認識に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第 30 号 2021 年 3 月 26 日）を適用しており、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財

又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識しております。主要な事業における主な履行義務の内容及び収益を認識する通常の時点については、収益認識に関する注記に記載のとおりであります。

5 その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

ヘッジ会計の方法

①ヘッジ会計の方法……………金利スワップについては、特例処理の要件を満たしているため、特例処理を採用しております。

②ヘッジ手段とヘッジ対象……………ヘッジ手段…金利スワップ
ヘッジ対象…借入金

③ヘッジ方針……………当社は金融機関からの借入金の一部について、金利変動によるリスクを回避するため、金利スワップ取引を利用しております。

④ヘッジ有効性評価の方法……………金利スワップの特例処理の要件を満たしているため、有効性の判定を省略しております。

(収益認識に関する注記)

1 駐車場経営事業

神奈川県藤沢市内の神奈川県立湘南海岸公園内にある西部駐車場、中部駐車場、中部バス駐車場及び江の島島内にある江の島なぎさ駐車場、江の島かもめ駐車場の経営業務、テニスコート、シャワー・ロッカーの有料施設利用サービス提供業務及び自販機による飲料等の販売業務を行っており、これらのサービスを提供する義務を負っております。

これらの収益は、利用に応じて履行義務が充足されると判断し、サービスを提供した時点で収益を認識しております。

2 指定管理事業

神奈川県の指定管理者として、片瀬海岸地下駐車場、湘南海岸公園の管理運営・維持管理業務及び施設の利用承認に関する業務等の実施をしており、神奈川県との各指定管理事業に関する基本協定書に基づき、当該指定管理事業を行う義務を負っております。

契約期間を履行義務の充足期間として、履行業務を充足するにつれて一定の期間に渡り収益を認識しております。

(表示方法の変更に関する注記)

Park-PFI 制度を活用した鵠沼海浜公園の事業を開始したことに伴い、表示方法を見直した結果、「未収金」については「売掛金」及び「未収金」に区分して表示しております。

(貸借対照表に関する注記)

1 担保に供している資産及び担保に係る債務

(1) 担保に供している資産	土地	1, 9 4 4, 9 8 7 千円
	建物	5, 2 3 9 千円
		1, 9 5 0, 2 2 7 千円

(2) 担保に係る債務

1年以内返済予定 長期借入金	50,000千円
長期借入金	700,000千円
	<u>750,000千円</u>

2 有形固定資産の減価償却累計額 285,283千円

(株主資本等変動計算書に関する注記)

1 当事業年度の末日における発行済株式の総数
普通株式 14,600株

2 剰余金の配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の 種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
令和6年6月20日 第34期定時株主総会	普通株式	7,300	500	令和6年3月31日	令和6年6月21日

(2) 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生が翌期になるもの

令和7年6月20日開催の第35期定時株主総会の議案として、普通株式の配当に関する事項を次のとおり提案いたします。

・配当金の総額	10,220千円
・1株当たり配当金額	700円
・配当の原資	繰越利益剰余金
・基準日	令和7年3月31日
・効力発生日	令和7年6月23日

(3) 配当財産が金銭以外の財産である場合における当該財産の帳簿価額の総額
該当事項はありません。

(税効果会計に関する注記)

繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

繰延税金資産	
未払事業税	1,971千円
賞与引当金	2,637千円
退職給付引当金	9,483千円
減価償却超過額	2,248千円
資産除去債務	3,860千円
その他有価証券評価差額金	16千円
その他	<u>981千円</u>
繰延税金資産小計	<u>21,199千円</u>
評価性引当額	<u>▲94千円</u>
繰延税金資産合計	<u>21,105千円</u>

繰延税金負債

資産除去債務に対応する除去費用

1, 5 2 7 千円

繰延税金負債合計

1, 5 2 7 千円

繰延税金資産の純額

1 9, 5 7 7 千円

(金融商品に関する注記)

1 金融商品の状況に関する事項

当社は、資金運用については、原則として安全性の高い金融資産で余資運用し、投機的な取引は行わない方針であります。また、資金調達については銀行借入により行い、運転資金及び少額の設備投資に関しては、原則として自己資金で賄う方針であります。なお、デリバティブ取引は金利変動リスクを回避するために利用しており、投機的な取引は行わない方針であります。

借入金、設備投資に必要な資金調達を目的としたものであり、金利の変動リスクに晒されております。デリバティブ取引は、借入金に係る支払金利の変動リスクに対するヘッジを目的とした金利スワップ取引であります。

2 金融商品の時価等に関する事項

令和7年3月31日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

(単位：千円)

	貸借対照表計上額	時価	差額
(1) 長期借入金	7 5 0, 0 0 0	7 4 0, 4 2 9	▲ 9, 5 7 0

*「現金及び預金」については、短期間で決済されるため時価が帳簿価額に近似するものであることから、記載を省略しております。

(1) 長期借入金

変動金利によるものは、短期間で市場金利を反映し、また、当社の信用状態は実行後大きく異なっていないことから、時価は帳簿価額と近似していると考えられるため、当該帳簿価額によっております。固定金利によるものは、一定期間ごとに区分した当該長期借入金の元利金の合計額を同様の借入において想定される利率で割り引いた現在価値により算定しております。なお、変動金利による長期借入金のうち金利スワップの特例処理の対象とされるものは、当該金利スワップと一体として処理された元利金の合計額を同様の借入において想定される利率で割り引いた現在価値により算定しております。

1 年内返済長期借入金は、長期借入金に含めて表示しております。

(関連当事者との取引に関する注記)

法人主要株主等

名称	議決権の数の所有割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
神奈川県	42.4%	施設の貸借 指定管理者	使用料・賃借料の支払	91,762	未払金	163
			納付金の支払	72,163	—	—
			指定管理料の受け取り	62,777	—	—

取引条件及び取引条件の決定方針

- 1 使用料・賃借料の支払いについては、西部・中部駐車場は都市公園法（昭和31年法律第79号）第5条第2項等の規定により許可を受けた施設であります。
- 2 納付金の支払いについては、地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2第3項に規定する指定管理者制度により、当社が片瀬海岸地下駐車場事業の応募時に提案書へ記載した金額を基に神奈川県が決定した金額であり、基本協定書に基づいて作成された年度協定書に記載された金額であります。
- 3 指定管理料の受け取りについては、前項と同様の指定管理者制度により、当社が湘南海岸公園事業の応募時に提案書へ記載した金額を基に神奈川県が決定した金額であり、指定管理事業に関する基本協定書に基づいて作成された年度協定書に記載された金額であります。

(1株当たり情報に関する注記)

- | | |
|--------------|-------------|
| 1 1株当たり純資産額 | 186,212円79銭 |
| 2 1株当たり当期純利益 | 9,338円72銭 |

(重要な後発事象に関する注記)

該当事項はありません。

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。